



日本共産党平塚市議会議員団

電話 0463-23-1111 (内線 2375)

平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

No.1778 2026年7月12日発行

日本共産党平塚市議会議員団

団長 松本 敏子

電話・fax 59-4607

mail@matsumoto-toshiko.jp

幹事長 高山 和義

電話・fax 31-4638

k.takayama@mb.scn-net.ne.jp

日本共産党議員団の法律相談

今回は7月16日(木)です

午後1時～4時 (要予約)

● 議員団にご連絡ください。

6月議会での総括質問

松本敏子議員

1. ウォーターPPPについての市の考え方

質問を掲載する前に、「ウォーターPPP」という名が「水の官民連携」という名に代わりました。

理由

従来、上下水道や工業用水道分野での官民連携事業は「ウォーターPPP」と呼ばれていましたが、内閣府 PPP/PFI 推進室では、2025 年 12 月のタスクフォース会議で「ウォーターPPP という名称に対し、事実に基づかない先入観や誤解が生まれているため、名称を『水の官民連携』としたい」と表明。これにより、国民に対してより分かりやすく、かつ誤解を避ける意図で呼称を変更したとしています。

「水の官民連携」とは

しかし、名を変えても中身はまったく変わりません。この「ウォーターPPP」は「レベル3.5」といわれ、これを導入する場合、①長期契約(原則10年) ②性能発注 ③維持管理と更新の一体マネジメント ④プロフィットシェアの4つが必須条件となります。そして、1つ1つの条件に対し、「契約期間が10年と契約書等に記載されているか。契約期間が10年でない場合、管理者がその理由を公表情報等に基づいて説明できるか。」など国のチェックが入る仕組みになっており、進めるからには国の指針通り、やらなかったら令和9年度以降の「水関係の工事に対し国の交付金は出さない」というやり方が進められているのです。

「水の官民連携 (ウォーターPPP)」

導入した場合、職員の技術力の保持や技術承継が課題、導入しなければ、今後、工事にかかる国の交付金を受けられなくなる。

松本

国はいま、「水の官民連携」の導入を推進しようとしているが、どういうものか。またこの仕組みを導入した場合のメリット、デメリットは何か。

土木部長

水の官民連携とは、水分野の公共施設が抱える、更新需要の増加や職員数の減少、人口減少に伴う経営環境の悪化といった課題を、民間のノウハウや創意工夫、新技術の導入により、解決していくための効果的な手法として、国が推進している官民連携方式の一つである。

導入した場合には、職員の技術力の保持や技術承継が課題となる。導入しない場合には、今後更新需要が増えるなかで、国の交付金を受けられない工事が発生し、事業の進捗に影響が出るものと考えます。

松本

「水の官民連携」の神奈川県内での導入状況、また、県内で導入可能性調査を実施している近隣市の状況を伺う

土木部長

県内では、三浦市がすべての施設を対象に令和5年度から、葉山町が管路を対象に令和8年度から開始している。また、導入可能性調査は、茅ヶ崎市や伊勢原市などが令和7年度に実施している。

松本

本市の導入可能性調査の進捗状況を伺う。

土木部長

現在、下水道事業の現状分析として、財政や資産の状況整備、維持管理状況や業

務の執行体制の調査などを行い、下水道事業の課題の洗い出しや整理を進めている。

また、本市の維持管理業務を担う市内業者との意見交換会を6月下旬に予定しており、いただいた意見を参考に枠組み案を作成したうえで、マーケットサウンディングを行う予定である。その後、本市において最適な民間活力の導入方法や枠組みなどについて検討を行う。

松本

水道、下水道は市民生活にとっても、地域経済を支えるインフラとしても、大変重要な部分である。平塚市が下水道事業の維持管理を10年間民間に任せて、10年後の更新時には市に全体を把握できる職員がいなくなり、必然的にレベル4の管理運営まで任せるコンセッション方式に移行せざるを得なくなるのではないかと懸念している。

土木部長

国は最終的にはコンセッションをと言っているが、実際は受け皿の問題があるので、導入可能性調査の中でしっかり見通しを立てて、段階的にやっていくことになると考えている。

松本

結局大手が入ってJVで実施するような、大手の出番を作るための政策になってしまうのではないかと心配するが。

土木部長

そういう危惧があるので、市内業者と意見交換会をしっかりと行い、そのなかで出た意見を参考に枠組み案を作成した上で、マーケットサウンディングというかたちをとっている。

「水の官民連携」の続き
松本

多額の市税を投入して行う事業なので、税の使途が議会でも確実にチェックできるようになっているのか。民間が行っている事業だからと、明らかにならない部分が出てくるのが想定されるが、いかがか。

土木部長

水の官民連携に関しては、今後しっかりと庁内にも同意をもらい進めるように考えている。

松本

世界各地でもコンセッションなどの官民連携導入後に水道料金の急騰、サービスの低下、汚水の事故など、深刻な問題が相次ぎ「再公営化」を進める国が出てきているという。世界の先進国でのPPP/PFIによる事例が発表されていても、日本では次々と進められていくわけだが、PPPの導入は急がず、周囲の動向を注視しどういう方向がいいか見極めて進めてほしいが、見解を伺う。

土木部長

水の官民連携は交付金の要件化になっている。導入しないと交付金が受けられないということになるので、基本的には導入に向けてしっかり進めたいと考えている。



市役所 1 階ホールに飾られた生け花

高齢者施策の各年度予算の推移から

単位:千円

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
老人福祉費	3,625,926	3,612,329	3,930,274	3,779,863	4,526,318	4,761,687
高齢福祉庶務事業	3,229	8,781	2,593	2,360	2,397	3,604
老人クラブ支援事業	7,050	7,601	7,011	7,634	6,905	6,945
介護老人福祉施設整備費等助成事業	140,400	10,140	—	—	—	—
生きがい事業団助成事業	34,987	29,987	31,858	29,047	29,647	30,103
高齢者生活支援事業	8,091	7,827	6,612	2,734	3,387	3,388
老人福祉施設入所委託事業	191,868	194,275	195,004	195,004	203,537	211,082
敬老祝賀事業	1,225	1,239	1,452	1,461	1,529	1,381
包括的支援事業	—	—	—	—	—	379,616
一般介護予防事業	—	—	—	—	—	22,962
介護保険庶務事業	—	—	—	1,635	272	—
高齢者福祉計画策定事業	—	5,417	5,674	—	6,702	4,781
介護人材育成定着支援事業	610	830	700	820	710	595
低所得者利用者負担対策事業	685	933	548	418	407	352
介護保険施設整備等助成事業	—	—	315,777	10,324	490,827	148,822
後期高齢者医療事業	2,413,220	2,477,075	2,624,115	2,668,139	2,791,287	2,959,158
後期高齢者医療事業特別会計繰出金	824,561	868,224	738,930	860,287	988,711	988,898

特別会計予算	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
介護保険事業特別会計	20,099,000	22,557,000	22,617,000	24,194,000	24,957,000	24,724,000
後期高齢者医療特別会計	3,952,000	4,081,000	4,263,000	4,945,000	5,289,000	5,958,000

老人福祉費は、令和 3 年度から令和 8 年度までの推移を見ると、6 年のうちに 11 億円増加しています。

しかし、後期高齢者医療事業への市の負担金や繰出金が 7 億円が増えたことと、今年度、包括支援事業、一般介護予防事業が介護保険事業特別会計から一般会計に移動したために計 4 億円増えたことによるもので、特別、高齢者施策で新たなメニューが増えている訳ではありません。

6 月議会でも「身体の不自由な高齢者にも是非タクシー券の補助を」と要望しましたが、「高齢者等に対する移動支援は地域の交通課題に応じて実施することが望ましいと考えており、現在岡崎地区でコミュニティタクシー運行の実証実験を行っているところである。今後も地域での移動を取り巻く社会状況を把握し、交通部門と福祉部門が連携し、移動手段の確保に取り組んでいく。」という理由で実現できませんでした。交通部門と福祉部門との連携で進めているとはいえ、全市で実施できるのはいつになるかわかりません。難しいからこそ、近隣市では高齢者の足の確保としてタクシー券の助成が広がっているのです。

厚木市では、今年度予算に敬老事業費 4299 万 7 千円、高齢者外出支援事業費 2 億 8750 万 8 千円など高齢者に嬉しい予算がついています。

平塚市でも、高齢者が生き生きと外出できる支援策が早急に求められています。